



赤屋小だより



令和3年度
安来市立赤屋小学校
R4 3. 16
第13号 文責 勝部



←赤屋小HP

祝 全日本学校関係緑化コンクール特選(全国1位)

この度、赤屋小学校は、「令和3年度 全日本学校緑化コンクール」において、「特選(全国1位)」を受賞しました。受賞を受けて、3月8日(火)、学校林において受賞記念植樹を行いました。下記のように長年地域をあげて取り組んできたことが評価された結果です。

来年度、6月5日滋賀県で行われる、「全国植樹祭」にて表彰されます。50周年の節目にいただいたこのすばらしい賞を、赤屋地域の皆様と共に祝福し、赤屋の魅力について大いに語り合いたいです。おめでとうございます！

受賞記念植樹祭の様子



赤屋小の学校林活動について (全国植樹祭用紹介原稿より)

学校林は50年前の統合時、旧赤屋中学校から引き継ぎ、PTA会員によりヒノキ600本、マツ650本が植樹されたと記録されています。平成2年、「緑の少年団」を結成し、活動を続けてきました。平成27年度から3か年計画で、島根県緑化推進委員会の助成を受け、学校林整備を行いました。その後も保護者や地域の方の協力により、児童が安心して活動できるよう整備を続けています。

令和元年度には地域の方が所属するNPO団体の協力により、林内に間伐材を使ったウッドデッキや歩道を整備しました。また、令和3年度には地域の方からの寄附や奉仕をいただき、大型木造ブランコ2基を設置しました。地域をあげて学校教育を支援しようとする風土があり、児童は地域の方々から大切に見守られています。

児童は入学と同時に「緑の少年団」に入団し、自然に親しむことを目的とした植物観察や採取加工、森林について理解を深めることを目的とした枝打ち・間伐体験等、年間を通じた活動を行っています。学校林を活用した学習は、森の果たす役割を体験から学べる貴重な機会となり、自分達のふるさとにはすばらしい自然があることを知ったり、その自然を守っていこうとする態度を育成したりすることにつながっています。

「豊かな緑と笑顔あふれる助け合いの郷 赤屋」の赤屋地区共通テーマのもと、学校林を基盤にすえた「赤屋学(ふるさと教育)」と自然環境の保持推進に学校は地域の皆様とともに一丸となって取り組んでいます。

学校評価 ありがとうございました

全保護者の皆様にご協力いただき、学校評価に関わるアンケートを実施しました。また、結果をもとに3月4日に赤屋小学校学校評議員会を開催しました。地域や保護者代表の委員様から今年度の赤屋小学校の取組についてご意見をいただきました。来年度の学校経営に生かしてまいります。

また、今年1年間地域の皆様、保護者の皆様には新型コロナウイルス感染拡大が心配される中、子ども達のためにご協力いただきましたこと感謝申し上げます。ありがとうございました。

今月18日が卒業証書授与式、24日が修了式、離任式となります。

1 結果(数字は肯定的評価の割合)

(1) 健やかな体と強い心の育成

| ◇児童アンケートより | R2 | R3 |
|-----------------------------|-----|------------|
| ・学校は楽しい | 97% | 100% |
| ・進んで元気よく挨拶をしている。 | 97% | 100% |
| ・業間や昼休みは体育館や校庭でよく体を動かしている。 | 81% | 100% |
| ・早寝早起きをしてしっかりと(9時間ぐらい)寝ている。 | 90% | <u>95%</u> |

☆保護者アンケートより

| | | |
|----------------------------|------|----------------|
| ・お子さんは、学校に進んで登校している。 | 100% | 87% |
| ・お子さんは地域や家庭で明るく元気な挨拶をしている。 | 86% | 86% |
| ・お子さんは毎日朝食をとって登校している。 | 97% | 95% |
| ・お子さんは睡眠時間(9時間)を十分とっている。 | 80% | <u>50%</u> |
| ・お子さんは、メディアコントロールに取り組んでいる。 | — | <u>50%(新規)</u> |

※結果から新型コロナウイルス感染予防のなか、児童は元気よく学校に通っている。体を動かすことについては改善した。睡眠時間については、児童と保護者の評価に開きがある。

→メディア接触の時間については児童会活動による取組やPTA研修会「メディア・ゲームの危険性」、学校保健委員会「スマホの使い方」を行ったことで少し改善した。今後も家庭と連携し、特に「オンラインゲーム」「動画視聴」へのルール化等、継続した取組を行う。

(2) 論理的思考の育成と確かな学力の定着

| ◇児童アンケートより | R2 | R3 |
|----------------------------|-----|----------|
| ・少し難しくてもあきらめず最後まで頑張っている。 | 94% | 100% |
| ・勉強時間には、自分でしっかりと考えている。 | 97% | 90% |
| ・自分の考えや思っていることを進んで発表している。 | 84% | 100% |
| ・先生や友達の話をよく聞いている。 | 97% | 100% |
| ・家庭学習を毎日しっかりとしている。 | — | 96%(新規) |
| ・ICTを使った勉強や発表、説明は分かりやすい。 | — | 100%(新規) |
| ・分からないことがあったときには、図書館を利用する。 | — | 85%(新規) |
| ・進んで読書をしている。 | — | 95%(新規) |

☆保護者アンケートより

| | | |
|--------------------------------|------|------|
| ・学校は、読み・書き・計算の基礎基本の定着に力を入れている。 | 100% | 100% |
| ・お子さんは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。 | 100% | 81% |

| | R2 | R3 |
|--------------------------|-----|---------|
| ・お子さんは、毎日の家庭学習が習慣になっている。 | 86% | 68% |
| ・お子さんは、読書の習慣が身に付いている。 | — | 50%(新規) |

※学習に向かう姿勢、やるべきことをやる(漢字・計算チャレンジ)、話を聞くという意識はとても高い。タブレットを使って調べることが増えたため、図書館利用が減った。家庭学習の習慣化が課題である。

→赤屋っ子チャレンジや月ごとの漢字・計算テストの継続。

→1人1台タブレットを使用し、ICT 機器を積極的に活用した授業改善をさらに進めるとともに、主体的な学びを保証し表現力を高めていく。

→図書館活用教育(特に読書)について、他校と取組を共有し、読書習慣の向上を図る。現段階の案としては、週に1回全校朝読書、全学級週に1時間「図書の時間」を継続して行う。隙間読書、児童会活動やPTA研修等と連動し、読書習慣の定着を図る。

→家庭学習については「家庭学習のてびき」を活用しながら、授業と自主学習が結びついた取組やメディアコントロールと合わせた取組を行う。また、「自学ノート」の例示をし、児童がイメージをもって家庭学習に取り組めるようにする。

(3)人権を尊重しあう学校風土の構築「だれもが主人公」

◇児童アンケートより

| | R2 | R3 |
|-----------------------------------|------|------|
| ・友達の良いところを見つけている。 | 97% | 100% |
| ・友達がどんな気持ちなのか考えようとしている。 | 97% | 100% |
| ・周りの人に感謝し、「ありがとう」を言う。 | 100% | 100% |
| ・係や仕事やお手伝いを進んでやっている。 | 97% | 100% |
| ・縦割り班遊びや運動会などの違う学年の人と一緒にする活動は楽しい。 | 90% | 100% |

☆保護者アンケートより

| | | |
|--------------------------------|------|------|
| ・学校は、子どものよいところを誉め、伸ばすようにしている。 | 97% | 94% |
| ・学校は、子どものトラブルや悩みに対して適切に対応している。 | 97% | 89% |
| ・お子さんは、学校でよい友達関係がある。 | 100% | 95% |
| ・学校は、ホームページ、たより等で分かりやすく伝えている。 | 97% | 100% |
| ・学校は、来校者に行きやすい雰囲気づくりに努めている。 | 97% | 100% |

※高学年が、下学年の世話をしたり遊んだりすることが日常的に見られる。運営委員会の児童が、あいさつ週間、全校遊びを企画したおかげで、肯定的評価の割合が上がってきている項目もある。人権週間では、集中的に関連の授業や活動に取り組んでいる。

→児童同士の関係のよさがすべての教育活動で効果を発揮している。相手を思いやれる活動や行動を意識し、継続・進化した取組を行う。また、児童を中心にすえた保護者との連携を大切にしてい

→引き続きホームページ、学校・学級だより、どじょっこテレビなどによる広報活動を積極的に行い、赤屋小学校や赤屋地域の取組を紹介する。

(4)赤屋学(ふるさと教育)の充実

◇児童アンケートより

| | R2 | R3 |
|-------------------------------|------|------|
| ・赤屋のよさを知る学習や体験活動に積極的に取り組んでいる。 | 100% | 100% |

☆保護者アンケートより

R2 R3

・学校は、地域の「ひと・もの・こと」に関わった学習を進めている。

100% 100%

※ふるさと教育の柱の1つである「学校林活動」が全国で高い評価を受けた。森林教室を通して、環境教育を行うことができた。「赤屋を有名にしたい」との先輩の思いから「赤屋ゆるキャラプロジェクト」の取組も引き継いで行っている。また、地域の皆様や保護者様に温かく学校を見守っていただき、「赤屋のビジョン」に向かってのふるさと教育「赤屋学」を実施することができた。

→赤屋交流センターや地域の方との連携を深め、継続して今後も「赤屋学」を進めていく。

→来年度は赤屋小学校創立50周年記念事業と全国植樹祭での表彰がある。それらをタイアップさせ、地域と共に活力のある学校づくりに取り組んでいきたい。

学校評議員の皆様より

(良かったこと)

◎学校経営構想はとてもうまくまとめられていて赤屋小学校の目指している姿がよく分かる。

◎まとまりのある温かい学校だと思う。

◎教職員が教育課程の全分野に渡り、「話、和、輪」を大切に有機的につながり合い、全力で赤屋の子ども達の育成に携わっていただいていることがよく分かる。

(課題について)

○親子読書の取組を続けていくと読書への興味につながる。親子読書の回数を増やす。

○朝読書の時間の日にちを増やす。学習公開日等の時、保護者も本を借りる。

○メディアについては長く付き合っていく課題。

○家庭学習については子どもと親との差がある。差を埋めるには学校と家庭と両方の協力が必要。

入賞おめでとう

○島根県書初め展において、たくさんの賞をいただきました。

【金賞】

4年 川上 留奈さん
4年 増田 大貴さん
4年 松岡 悠来さん

【銀賞】

3年 秋庭 颯太さん
3年 石原 樹莉さん
3年 福田 希愛さん
3年 塚原 大翔さん

4年 小原 望さん
4年 野々村 進次郎さん
4年 渡邊 美桜さん
6年 川上 真穂さん

お礼

・地域の方から卒業のお祝いとして卒業生に図書カードをいただきました。

・この度の受賞記念植樹の際、地域の卒業生様からご厚志をいただきました。



紹介に合わせ、お礼を申し上げます。

卒業生の旅立ちを飾るチューリップ
(寺田禎教育委員様より寄贈)

【4月当初の予定】

4月 8日(金) 着任式・始業式、弁当

4月 9日(土) 入学式

4月11日(月) 振替休業日

4月12日(火) 交通安全教室(1, 2年)
地区児童会、弁当

4月13日(水) 全校朝礼、1年生を迎える会、給食開始

4月15日(金) 上の台遠足、
PTA専門委員会